

都市再生整備計画(第3回変更)

おおがきしなかせんどうあかさかじゅくしゅうへん
大垣市中山道赤坂宿周辺地区

岐阜県 おおがき
大垣市

平成22年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	おおがき 大垣市	地区名	おおがきしなかせんどうあかさかじゆもゆうへん 大垣市中山道赤坂宿周辺地区	面積	590 ha								
計画期間	平成	18	年度	～	平成	22	年度	交付期間	平成	18	年度	～	平成	22	年度

目標

大目標：歴史ある宿場町の再生による賑わいの創出と、安心して住み続けられるまちづくり

- 目標1：特色ある地域歴史景観の創出による観光客の誘導促進
- 目標2：歴史的資源を活用した交流と憩いの場づくり
- 目標3：いつまでも安全・安心に住み続けられるための環境整備

目標設定の根拠

- まちづくりの経緯及び現況
- ・当地区は、江戸時代には中山道57番目の宿場町「赤坂宿」として賑わい、近年までその風情を残していたが、家屋の建替えやモータリゼーションの進行等による道路整備などが進み、それが失われつつある。
 - ・後世に赤坂宿の雰囲気を残していくため、地域住民が連携し、赤坂地区のまちづくりを推進していくことを目的として、平成14年に「中山道赤坂宿町づくりの会」が組織された。
 - ・市としても、この会を都市景観形成市民団体の第1号に認定し、助成金の交付や情報提供等を行って支援してきた。
 - ・その結果、皇女和宮の降臨にちなんだ「お嫁入り普請探訪館」の開館や「中山道赤坂宿まつり」の運営、講演会・勉強会の開催、先進地視察などに取り組んできた。
 - ・その他にも、この地区は原始・古代の遺跡が集中するとともに、大型古墳や寺院などの歴史的・文化的遺産が数多く集積している。
 - ・特徴的なものがありながら、地域の人たちにも来訪者にもあまり知られていない。
 - ・古いまちであるため、防災の観点から治水面や道路等の環境整備が遅れている。
 - ・金生山からの雨水等による表面水がふもとに流れ込み、長年にわたって赤坂市街地住民に被害を及ぼし、地元からの改善要望が強い。
 - ・まちなみ保全等のため、赤坂市街地内に安易に排水路の設置等ができず、抜本的な対策が必要であるため、平成12年度、14年度と調査を進めてきた。
 - ・当地区内の昼飯南部未利用地は、当初、区画整理事業として一体的な整備を図る方針であったが、地区計画事業としての道路整備を行うこととなった。

課題

- 宿場町としての歴史的資源、遺産の保存・整備が必要である。
それらを観光資源として効果的に連携させ、市民や観光客が回遊して時間消費できるようなまちづくり等が必要である。
歴史的景観の整備と、それを活用した独自性のあるまちなみ形成が必要である。
歴史的資源を保存することとともに、地域の憩いの場となる歴史公園、古墳、広場等の整備が必要である。
- 治水対策と震災対策、防犯対策の強化等による、安全・安心なまちづくりが必要である。
赤坂市街地内の排水対策として、区域内の流下能力不足を補うため、一時的に初期雨水を貯留する施設の設置や流域変更、水路新設等を一体的に整備する必要がある。
昼飯南部未利用地は、14年間整備されない状況が続き、ミニ開発が進行してスプロール化が進み、不良市街地が形成されつつあるため、交通や防犯等の観点から有効な道路ネットワークを形成する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

- ・「大垣市第四次総合計画」においては、「重点的に景観形成を図っていく地域について、地域住民の理解と協力のもと、地域の特性を生かした景観の創出に努める」と定め、さらに、「観光資源の見直し、再整備を行うとともに、新たな資源の掘り起こしを図る」ことが明記されており、本計画の対象地域である赤坂地区は、この位置付けにふさわしいエリアである。
- ・したがって、あくまでも、歴史的景観の整備と歴史的・文化的遺産と資源の保存に努めながら、これらを活かし、防災面を含めた生活環境の整備を推進していくこととする。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
大垣観光ボランティアガイド案内人数	人/年	大垣観光ボランティアガイドが赤坂地区内を案内した人数	大垣市観光ボランティアガイドが赤坂地区内を案内した人数を指標とし、当面、50％程度の増加を見込む。	367	平成16年度	550	平成22年度
観光客平均滞在時間	時間	赤坂地区を訪れた人の平均滞在時間	歴史的資源・遺産・憩いの場等の整備や効果的な連携に向けて、来訪者の平均滞在時間を指標とする。アンケート調査を実施。	2	平成16年度	3.5	平成22年度
赤坂地区内公園緑地面積	m ² /人	赤坂地区内の1人当たりの公園緑地面積	地域の交流と憩いの場となる公園緑地の1人当たりの面積を指標とすることで、公園・広場整備の効果を測る。	3.8	平成16年度	4.7	平成22年度
防災訓練参加人数	人/年	防災訓練に参加した人数	防災訓練の参加人数を指標とし、当面、30％程度の増加を見込む。	200	平成16年度	260	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1(特色ある地域歴史景観の創出による観光客の誘導促進) ・区域内に点在している歴史的資源、遺産を観光資源として効果的に連携させるため、そのルートを歴史の小路等としてサインの設置等を行って整備し、複合的な観光施設としての魅力を高める。 ・宿場町としての歴史を有する大垣市のシンボリック存在として、中山道や谷汲巡礼街道の歴史景観を整備するとともに、ソフト事業として「中山道赤坂宿まちづくりの会」等の市民参加により、区域のガイドブックやマップの作成・配布等を行い、来訪者の回遊を補助する。	中山道景観整備事業(高質空間形成施設)、桜並木遊歩道整備事業(高質空間形成施設)、歴史の小路整備事業(高質空間形成施設)、金生山緑道整備事業(高質空間形成施設)、赤坂駅公衆便所設置工事(高質空間形成施設)、東海自然歩道情報板整備事業(地域生活基盤施設)、憩いの森遊歩道情報板整備事業(地域生活基盤施設)、市道屋飯31号線(屋飯大塚古墳周辺道路)整備事業(道路)
整備方針2(歴史的資源を活用した交流と憩いの場づくり) ・区域内に、古墳や地域独特の地形、希少生物等を活用した形で公園や広場を整備し、地域の憩いの場となることを目指す。 ・これらの施設についても、区域内に点在する観光資源を有機的に結びつける一拠点としての役割を持たせる。 ・古墳や中山道等を整備していくにあたり、歴史的・文化的観点からの調査結果等をホームページ等で広く市民等に情報提供する。 ・人材の発掘・育成・支援を通し、市民等とともに持続的な活力ある地区形成を目指す。	(仮称)さくら公園整備事業(公園)、(仮称)長松ため池公園整備事業(公園)、車塚公園整備事業(公園)、岩巢公園整備事業(高質空間形成施設)、矢道ハリヨの池広場整備事業(地域生活基盤施設)、赤坂まちづくり楽校事業(まちづくり活動推進事業)、(仮称)自然の里公園整備事業(関連事業)、史跡屋飯大塚古墳整備事業(関連事業)
整備方針3(いつまでも安全・安心に住み続けられるための環境整備) ・金生山からの雨水等の流入による浸水被害をなくすため、雨水貯留施設を設置し、併せて水路の新設・改良事業を行う。 ・避難場所となっている地区内の幼保園の耐震補強工事を伴う増築工事、小中学校の耐震補強工事、新たな避難場所となる(仮称)青墓地区センターの整備を実施し、安全・安心なまちづくりを目指す。 ・地区計画内道路等の整備を進め、地区内の交通、防犯機能の充実を図る。	市道屋飯10号線ほか4路線(屋飯南部地区地区計画道路)整備事業(道路)、雨水貯留施設設置工事(地域生活基盤施設)、排水施設(水路改良工事)(地域生活基盤施設)、青墓幼保園増築工事(地域生活基盤施設)、(仮称)青墓地区センター整備(高次都市施設)、青墓小学校耐震補強工事(関連事業)、赤坂中学校耐震補強工事(関連事業)
その他 ・継続的なまちづくり 事業実施にあたっては、「中山道赤坂宿まちづくりの会」をはじめとした市民参加によるワークショップ等を行い、積極的な市民参加を促す。 まちづくりに対するアンケート調査等を実施し、調査結果を今後の事業展開に反映する。 ・市民への情報提供 交付期間中の事業計画、事業の進捗状況等については、ホームページ等で情報公開し、市民の協力と参加を促す。	

交付対象事業費	855	交付限度額	364	国費率	0.43
---------	-----	-------	-----	-----	------

事業	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路	市道屋飯10号線ほか4路線	大垣市	直	470m	20	22	20	22	53	53	53	0	53
	市道屋飯31号線	大垣市	直	75m	22	22	22	22	5	5	5	0	5
公園	(仮称)さくら公園	大垣市	直	0.32ha	22	22	22	22	9	9	9	0	9
	(仮称)長松ため池公園	大垣市	直	0.41ha	22	22	22	22	6	6	6	0	6
	車塚公園	大垣市	直	0.05ha	21	21	21	21	6	6	6	0	6
河川													
下水道													
駐車場有効利用システム	—			—									
地域生活基盤施設	矢道ハリヨの池広場	大垣市	直	—	21	22	21	22	13	13	13	0	13
	東海自然歩道情報板整備	大垣市	直	—	22	22	22	22	1	1	1	0	1
	憩いの森遊歩道情報板整備	大垣市	直	—	18	22	18	22	2	2	2	0	2
	雨水貯留施設	大垣市	直	—	18	19	18	19	193	193	193	0	193
	排水施設	大垣市	直	—	18	20	18	20	76	76	76	0	76
	青墓幼保園増築工事	大垣市	直	649.2㎡	18	19	18	19	178	178	178	0	178
高質空間形成施設	中山道景観整備	大垣市	直	—	19	20	19	20	3	3	3	0	3
	歴史の小路整備	大垣市	直	—	21	22	21	22	2	2	2	0	2
	岩巢公園	大垣市	直	—	19	21	19	21	7	7	7	0	7
	桜並木遊歩道整備	大垣市	直	—	22	22	22	22	1	1	1	0	1
	金生山緑道整備	大垣市	直	—	22	22	22	22	6	6	6	0	6
	赤坂駅公衆便所設置工事	大垣市	直	—	18	18	18	18	5	5	5	0	5
高次都市施設	(仮称)青墓地区センター整備	大垣市	直	—	22	22	22	22	282	282	282	0	282
優良建築物等整備事業													
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型												
	沿道等整備型												
	密集住宅市街地整備型												
	耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業													
住宅地区改良事業等													
都心共同住宅供給事業													
公営住宅等整備													
都市再生住宅等整備													
防災街区整備事業													
合計									848	848	848	0	848

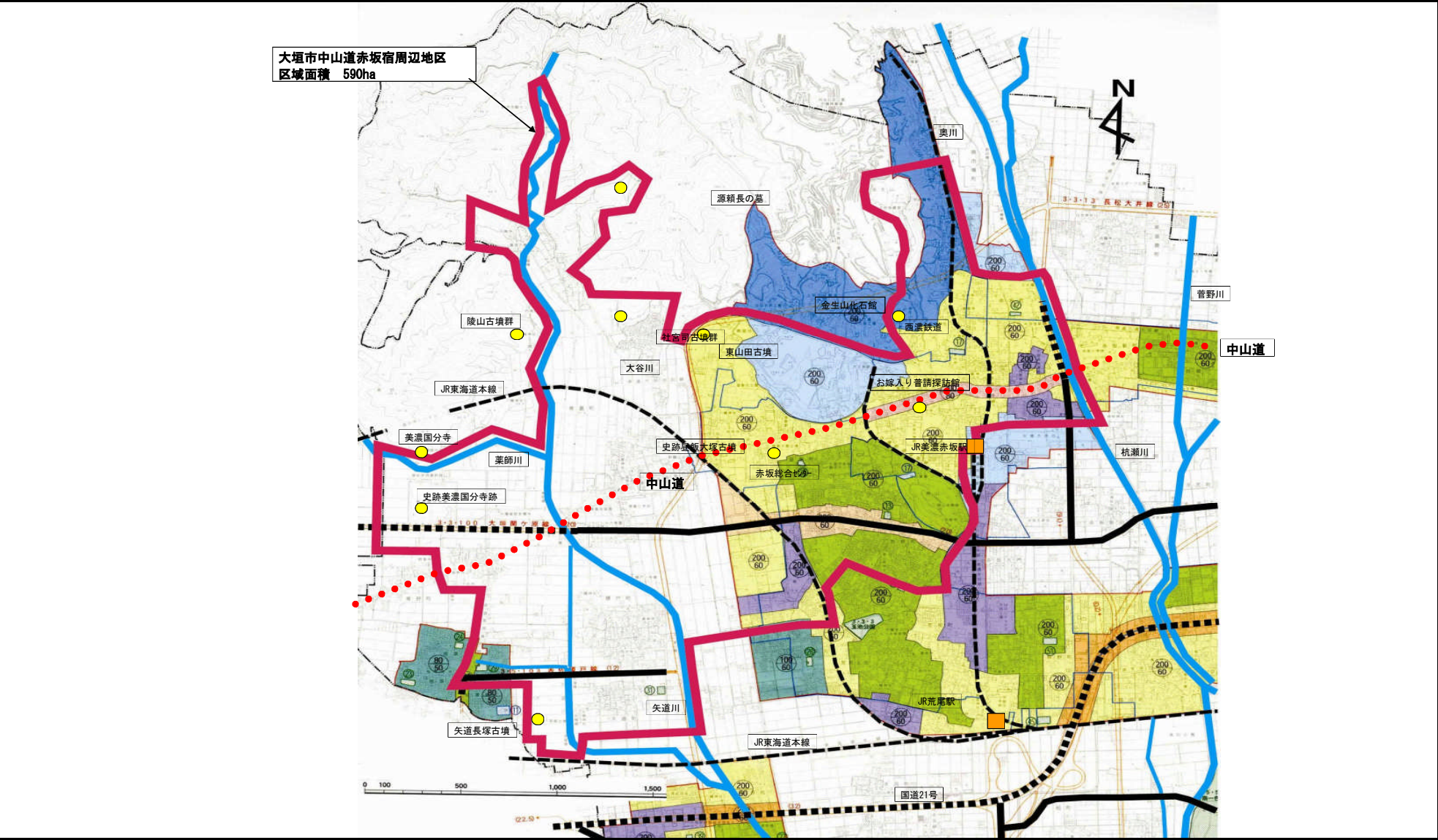
...A

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業														0
事業活用調査	事業効果分析調査	—	大垣市	直	—	22	22	22	22	4	4	4	0	4
		—			—									0
まちづくり活動推進事業	赤坂まちづくり楽校	—	大垣市	直	—	20	22	20	22	3	3	3	0	3
		—			—									0
合計										7	7	7	0	7
													合計(A+B)	855

[illegible]

都市再生整備計画の区域

大垣市中山道赤坂宿周辺地区(岐阜県大垣市)	面積	590 ha	区域	大垣市牧野町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、赤坂町、赤坂東町、昼飯町、青墓町1丁目、2丁目、3丁目、5丁目、榎戸町1丁目、2丁目、3丁目、矢道町1丁目、2丁目、3丁目、稲葉東3丁目、稲葉北1丁目
-----------------------	----	--------	----	---



大垣市中山道赤坂宿周辺地区(岐阜県大垣市) 整備方針概要図

目標

大目標:「歴史ある宿場町の再生による賑わいの創出と、安心して住み続けられるまちづくり」
目標1:特色ある地域歴史景観の創出による観光客の誘導促進
目標2:歴史的資源を活用した交流と憩いの場づくり
目標3:いつまでも安全・安心に住み続けられるための環境整備

代表的な指標

大垣観光ボランティアガイド案内人数 (人)	367	(16年度) →	550	(22年度)
観光客平均滞在時間 (時間)	2.0	(16年度) →	3.5	(22年度)
赤坂地区内公園緑地面積 (㎡)	3.8	(16年度) →	4.7	(22年度)
防災訓練参加人数 (人)	200	(16年度) →	260	(22年度)

大垣市中山道赤坂宿周辺地区
区域面積 590ha

□提案事業 事業活用調査
事業効果分析調査

